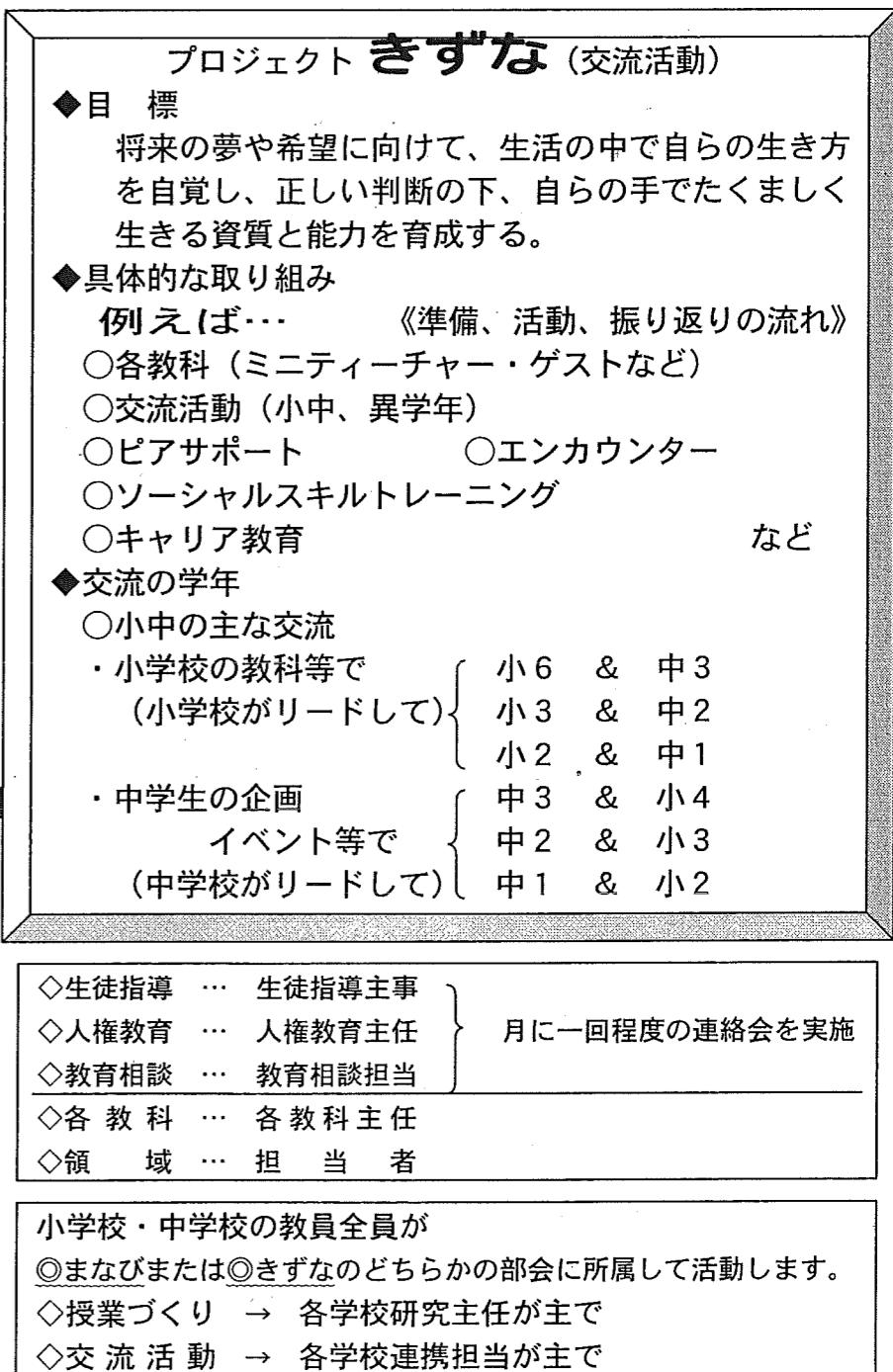
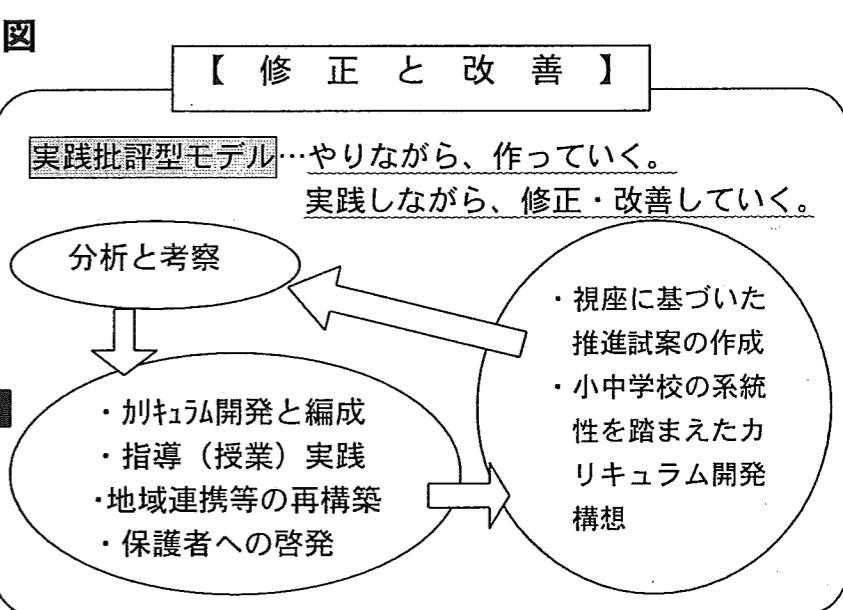
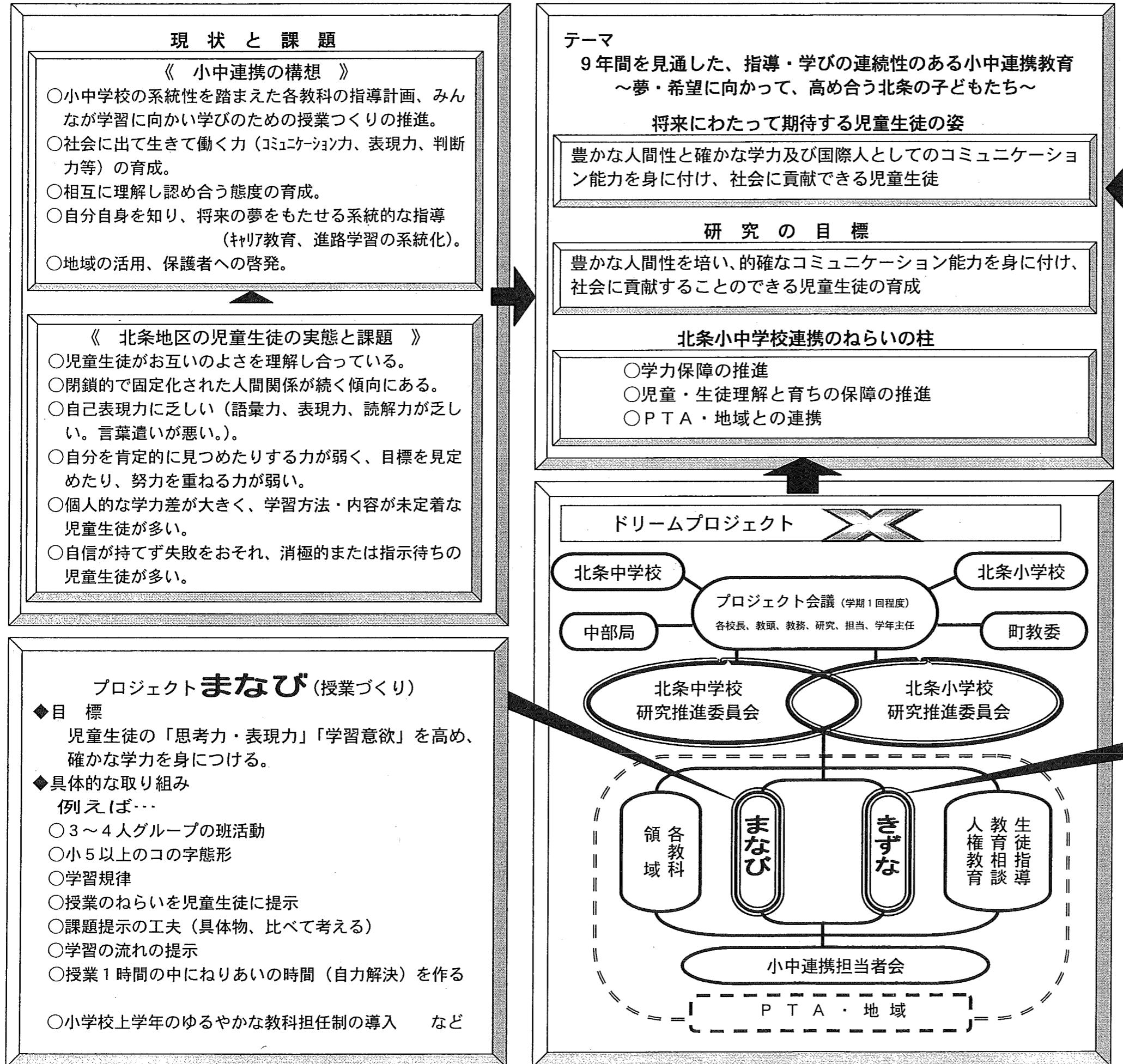


北条小中連携全体構想図



向ヶ丘レインボープラン

概要と計画

1 経過

同じ丘に大栄小学校・大栄中学校・鳥取中央育英高等学校があるという類まれな立地環境を活用して、連携事業ができないかという大栄中学校長の提案を受け、平成19年度より実施することとなった。

平成19年度は5回の連絡協議会を開催し、活動計画の策定や実施状況の報告、振り返りなどを行うとともに、公開授業や研究授業での教員交流、体験授業や部活動などへの生徒参加など多くの連携事業を実施した。

2 目的

小・中・高等学校が連携する中で、一人ひとりの児童生徒の発達を上級学校へと繋げると共に、児童生徒の進路意識の向上及び教職員の他校種理解を深めることを通して、学校が抱える共通の諸課題(学校不適応への対応、教科指導の一貫性、人権教育・特別支援教育の充実等)の解決策を模索する。

3 今年度の共通テーマ

『学習習慣の定着』 ⇔ 『学習規律と家庭学習』 ⇔ 『自ら学ぶ意欲の向上』

4 テーマ設定の理由

昨年度は本事業の初年度であり、どのような連携事業が可能かといった観点で、できることから始めるといったニュアンスがあった。2年目の今年度は、本事業の目的を明確にする中で共通テーマを設定し、目的達成のための実効性ある活動へと重点化焦点化する方向で深化をはかるうとするものである。

話し合いの結果、今年度の共通テーマを『学習習慣の定着』とすることとした。今教育現場が抱える課題は多様であるが、喫緊の課題として児童生徒の学力問題を取り上げることとした。この場合学力とは「学ぼうとする力(モティベーション)」、「学ぶ力(学びの方法や姿勢、態度)」、 「学んだ力(学んだ結果として身に付いた力、数値によって測れる力)」の3点である。児童生徒の「学んだ力(学んだ結果として身に付いた力、数値によって測れる力)」の3番目の力の無さ学力低下というとき、3番目の力が強調されがちであるが、その前段として1, 2番目の力の無さが問題である。今年度のテーマ設定においては特にこの点を重視したといってよい。学習規律とが問題である。今年度のテーマ設定においては特にこの点を重視したといってよい。学習規律と家庭学習を確立することによって学習習慣が定着し、その結果として自ら学ぶ意欲の向上を図るといった方向で研究を進めることとした。

5 年間計画(現時点で)

(1) 第1回3校事前打ち合わせ会議(教頭)

5月 1日(木) 16時 開催場所 鳥取中央育英高等学校応接室

(2) 第1回責任者会議(校長・教頭・教務主任等)

5月13日(火) 16時10分 開催場所 グリーン大栄

今後適宜協議会を開催し、企画をあげて円滑に実行していく。

6 検討課題

この取り組みを各校内的にどのようにして広範なものにしていくかといった観点で、会議の持ち方や組織をどう整備していくか。

7 協議

今年度の連携事業

1)授業交流

- ・各校で行われる校内研への他校種参加
- ・中高授業交流(小学校の参加も歓迎)
教科は英語・数学・国語の3教科とする。

実施日は相手校の午後授業のない日(例えば考査中の1日)の最終授業を研究授業とする。

3教科とも。

なるべく当該教科の全職員を相互に派遣し、放課後合同の研究会を持つ。

研究授業は何を焦点化するかを明確にして行う。(『学習習慣の定着』をテーマにして、例えば「予習を前提とした授業の進め方」「主体的活動を取り入れた授業のあり方」といった目標を設定する。)

2)小学6年生、中学3年生の上級学校授業体験について

当該学年全生徒を対象とする。

実施時期を決定するに当たり、教育効果の高い時期を設定する。

3)クラブ活動交流

- 読み聞かせ、部活動参加(中→高・小→中)
- 学校行事への参加
- 合唱部の学習発表会派遣

4)保護者会への講師派遣

広報誌作成時に指導助言のための講師派遣

5)「家庭学習の手引き」作成

小・中・高一貫した「家庭学習の手引き」パンフレットを作成する。

各校から担当者2名程度を出し、夏休みから作業にかかる。

宿題を出すだけでなく、なぜそれに取り組むことが必要か、そのことによってどのような成果が期待できるか、宿題以外にどのような家庭学習を行うか等、発達に応じ連続した家庭学習となるような手引書を作成する。

活動報告

| 向ヶ丘レインボープラン

2003年12月10日 レインボープラン「学習の手引き」説明会

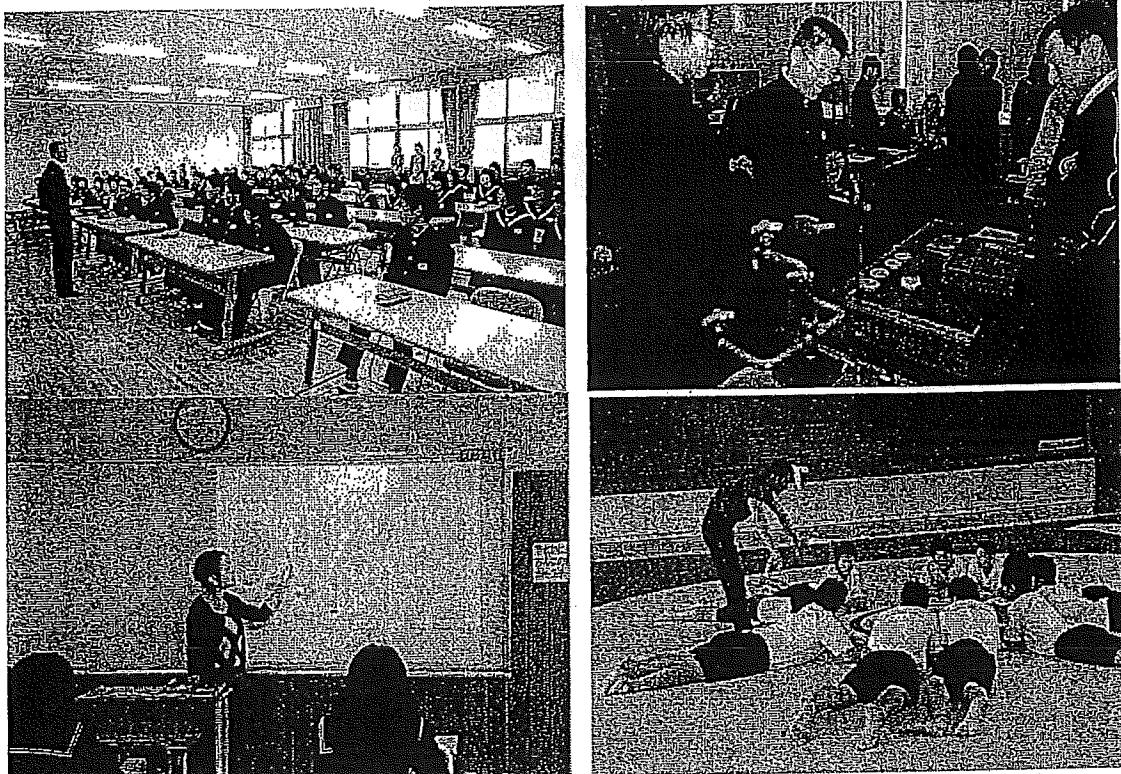
12月5日(金)、レインボープラン「学習の手引き」の使い方について説明会を開きました。

「学習の手引き」は向ヶ丘レインボープランの一貫として大栄小学校・中学校と本校とで研究し作成したものです。

「学習習慣の定着と自ら学ぶ意欲の向上」を目標に校種の異なる三校が一齊に取り組むことになりました。

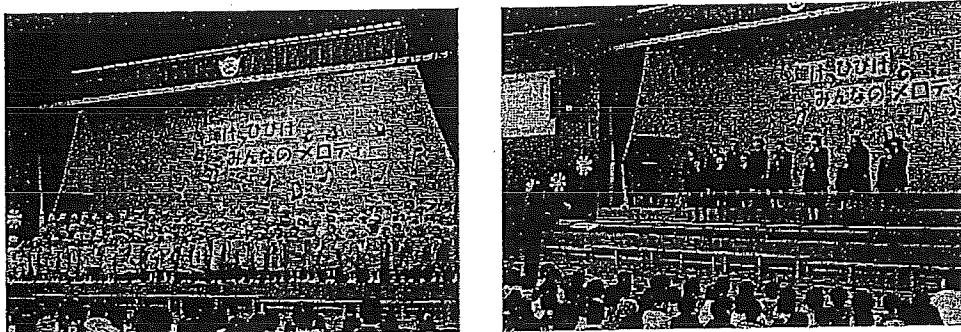
本校では全校集会を開き、牧教頭がこの取り組みの意義と学習の必要性について説明しました。生徒諸君は「学習の手引き」を熟読し、授業と家庭学習に活かしてください。(「学習の手引き」は1月14日掲載のPDFをご覧ください。)

- ・英語で話をされるので、自分の英語の力が身に付くような気がしました。
- ・体育でレスリングのいろんなゲームを体験しました。レスリング部に入りたいと思いました。
- など、たくさんの感想をよせてくれました。



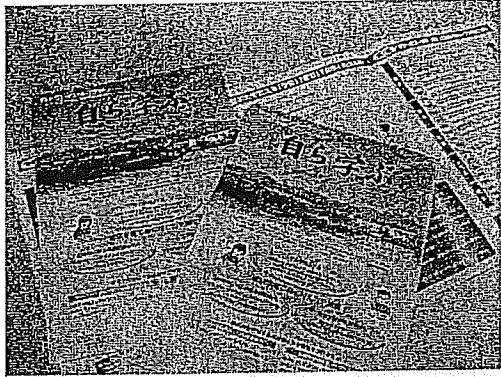
2008/10/27 レインボープラン音楽会 報告

10月24日(金)、大栄小学校学習発表会へ音楽部が出演しました。発表会への参加は昨年に引き続き2回目となります。小学生の元気な楽器演奏や歌声の中、高校生の合唱は一際、緊張感の溢れる瞬間でした。演奏を聴いてくださる皆様へ、部員たちの思い、合唱の楽しさや美しさを伝えようと練習を重ねてきました。会場で頂いた温かい拍手を胸に、これから活動も一生懸命取り組んでいきたいと思います。演奏会へ出演するにあたり、たくさんの方々にお世話になりました。本当にありがとうございました。

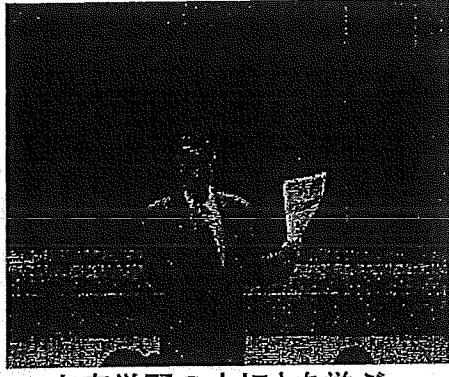


2008/10/16 向ヶ丘レインボープラン・小中高研究会開催

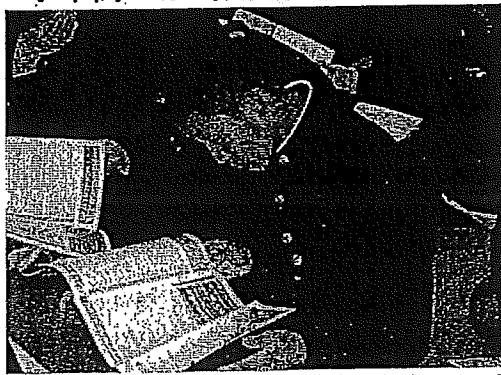
10月15日(水)「向ヶ丘レインボープラン」の取り組みの一貫として、小・中学校、高等学校合同の授業研究会を開催しました。(国語、数学、英語)
「向ヶ丘レインボープラン」は昨年発足し、1年間は小中高が連携することでどのような教育効果が期待できるのか模索しながら、交流を中心に取り組んできました。今年度は2年目を迎え、「学習習慣の定着」「自ら学ぶ意欲の向上」を共通テーマに設定し、合同授業研究会の実施や小中高



小中高ごとに作成したリーフレット



家庭学習の大切さを学ぶ



なるほど、こういうふうに勉強するのか

2003/11/12 向ヶ丘レインボープラン「自ら学ぶ」(リーフレット)完成!図

向ヶ丘レインボープランにおいて、大栄小学校・中学校と鳥取中央育英高校が共同研究し、「自ら学ぶ」(家庭学習の手引き)を完成させました。向ヶ丘レインボープランでは今年度“学習習慣の定着”と“自ら学ぶ意欲の向上”という共通のテーマを掲げ、小中高が一貫して取り組んでいます。

「自ら学ぶ」(家庭学習の手引き)は小学校版、中学校版、高等学校版があり、各教科ごとの家庭学習のポイントなどが示してあります。

高等学校版を PDF で添付しましたので、参考にしてください。(教科1)(教科2)が校種により異なります。

[自ら学ぶ\(表紙\).pdf](#)

[自ら学ぶ\(教科1\).pdf](#)

[自ら学ぶ\(教科2\).pdf](#)

[自ら学ぶ\(小学校\).pdf](#)

[自ら学ぶ\(中学校\).pdf](#)

[自ら学ぶ\(高校\).pdf](#)

2003/11/16 「レインボープラン」大栄中3年生 本校で体験授業図

11月5日(水)「向ヶ丘レインボープラン」の企画で大栄中学校3年生全員(81名)が本校で高校の授業を体験しました。

この体験授業は今年で2年目となります。中学と高校の学習をつなぐ取り組みとして今後も発展させたいと思います。

<中学生の感想>

- ・古文の内容が分かりやすく工夫してあって、とてもよかったです。
- ・歴史に興味を持つことができました。
- ・実験をすることで実際に体験できだし、楽しく授業を受けることができました。
- ・私は英語が苦手だったのでこの授業を選びました。プリントで単語の意味なども分かるようになっていて、分かりやすく教えてもらいました。

一貫性のあるリーフレット(家庭学習の手引き)の作成など具体的な目標を持って取り組んでいます。

今回の授業研究会は、鳥取県教育委員会、北栄町教育委員会、中部教育局からも指導助言をいただき、小学校・中学校から多くの先生方の参加を得て、これまであまり例のない小中高合同の本格的な授業研究会となりました。

鳥取中央育英高等学校教員の国語、数学、英語の授業を参観していただき、研究協議では活発な意見交換がなされました。「学習習慣の定着」と「自ら学ぶ意欲の向上」という研究テーマをどう実現するか、今後更に研究と実践を積み重ねていきたいと考えています。

